

キャリアアップMOTプログラム
2025年度エッセンシャルMOTコースのご案内

 東京科学大学 環境・社会理工学院
技術経営専門職学位課程 実施

Institute of Science Tokyo
School of Environment and Society
Technology and Innovation Management
CUMOT Program

CUMOT

先行きが不透明な中で未来を切り拓いていくため、産業・企業にとっては既存ビジネスの再構築や新ビジネスの創造が大きな課題となっており、イノベーションを創出する技術経営(MOT)がますます重要になっています。キャリアアップMOT「エッセンシャルMOT」コースは、次世代の企業経営を担う人材がMOTのマネジメントのエッセンスを学び、キャリアアップを図ることを目的としています。

環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程において、現在、技術経営を学んでいる学生の多くは社会人学生です。そこには様々な分野、企業・団体から修士、博士学生がMOTを学び、学びを通じた修了生を含めた新しいネットワークが生まれています。本プログラムも同様に、多くの方々がMOTを修得することによってキャリアアップを実現されるとともに、その学びを通じた交流で人的ネットワークを構築し、イノベーションを創出する場となることを期待しています。



技術経営専門職学位課程主任

エッセンシャルMOTコース(18期生) 募集要項

プログラム受講期間

2025年4月～2026年3月
月3～4回 全36回 水曜 19時～21時(予定)

※講義のほか、グループ課題等の提出を前提とした自宅学習を想定しております。
※科目によってはスケジュールや学習内容が一部、変更になる場合があります。
※3月26日(水)に受講ガイダンスを開催予定です。

受講対象者

・次世代の企業経営を担う社会人の方
例)若手後継者、技術系管理職、幹部候補生、経営企画職、ベンチャー企業経営者、等
・「教わる」ではなく自ら「学ぶ」という意識をお持ちの方

受講場所

Zoomを用いたオンライン受講または、田町キャンパス(東京都港区芝浦3-3-6 CIC)での対面受講を予定しています(対面講義実施時はオンライン受講との併用でいずれの方法でも受講いただけます)。
※オンライン講義の受講に必要な通信環境は受講者にてご用意ください。

申込期間

2025年1月8日(水)～2025年2月12日(水)(締切日必着)

受講料

264,000円(消費税込)
※お支払い方法については開講後(4月1日～4月30日まで)に振込みにて手続きをしていただく予定です(3月上旬にご案内)。お振込み後の受講料の返還はいたしませんのでご了承ください。

募集人数

24名

申込方法

願書に必要な事項をご記入のうえ下記の住所までお送りください(締切日必着)。
※PDFファイル(署名または押印入り)等、電子ファイルでのご提出も受け付けます(cumot-info[at]mot.titech.ac.jp宛て)。メールの送受信をもって押印・署名扱いとさせていただきます。
〒108-0023
東京都港区芝浦3-3-6 CIC910
CUMOT事務局 エッセンシャルMOTコース受講申込

受講審査・受講通知

願書をお送りいただいた後、志望理由書ならびに推薦状にもとづく書類審査をいたします(一括審査)。願書受領ならびに受講審査の結果についてはメールにてご連絡いたします(願書にメールアドレスの記載を忘れずをお願いします)。審査結果のご連絡は募集期間終了後(2/12)から1週間以内を予定しています。

お問い合わせ

東京科学大学 環境・社会理工学院
技術経営専門職学位課程 CUMOT事務局
問い合わせ先E-mail:
cumot-info@mot.titech.ac.jp
WebサイトURL:
<https://www.cumot.isc.ens.titech.ac.jp>

エッセンシャルMOTコース(2025年度)の説明会の動画(録画)をwebで配信いたします。詳細・最新情報についてはWebサイトをご覧ください。

プログラム修了の認定

修了者には「修了証書」を交付いたします。評価については、出席状況を含め、コースごとに行います。

プログラムの概要 一年間の流れ

年間スケジュールと担当講師(予定)

月	講義名	担当講師	所属
4月	企業戦略とイノベーション(講義&演習)	辻本 将晴	東京科学大学 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 教授
5月	計算社会科学と社会イノベーション(講義&演習)	笹原 和俊	東京科学大学 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 教授
6月	デザイン思考(講義&演習)	齊藤 滋規	東京科学大学 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 / 融合理工学系エンジニアリングデザインコース 教授
7月	人財/組織マネジメント(講義&演習)	小田 理一郎	有限会社 チェンジ・エージェンツ 代表取締役社長
8月	ビジネスシミュレーション1 企業経営(グループ演習1)	白井 宏明	横浜国立大学 名誉教授
9月	ビジネスシミュレーション2 企業戦略(グループ演習2)	中野 健次	元 東京科学大学情報理工学院情報工学系 特任教授
10月	ファイナンス&アカウントिंग(講義&演習)	杉山 慎治	日精ホールディングス株式会社 社外取締役
11月	連携型イノベーション戦略(講義&演習)	田辺 孝二	東京科学大学 名誉教授
12月	ビジネスシミュレーション3 事業評価(グループ演習3)	名田 秀彦	インテグラート株式会社 執行役員 ソリューション事業部長
1月	事業開発・アントレプレナーシップ(講義&演習)	木村 英一郎	東京科学大学 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 教授
2月	知的財産戦略(講義&演習)	橋本 正洋	法政大学大学院 政策創造研究科 教授

※東京科学大学技術経営専門職学位課程教員のプロフィール詳細は、http://educ.titech.ac.jp/isc/faculty/research_lab/ をご参照ください。

※スケジュールは科目の実施月の目安です。スケジュールの詳細は、

Webサイト(https://www.cumot.isc.ens.titech.ac.jp/es/es_curriculum.html)をご参照ください。

※所属等は2024年12月現在のものです。

学習形態と1ヶ月間の流れ

学習形態は科目によって「講義&演習」と「グループ演習」の2パターンがあります。1科目の学習の流れは表のようになっております。※対面またはZoomを用いたオンライン講義形式を予定しています。科目によっては、一部、内容が変更される場合があります。

学習形態	1週目	2週目	3週目
講義&演習	各科目分野に関する基礎知識を受講し、グループ課題や個人課題が提示されます。		課題発表とQ&Aおよびディスカッション、講評を行います。課題発表を踏まえたまとめの講義や演習なども行います。
(自己学習)	学習者は、自らの既得知識レベルや週末などの自由時間に合わせて推奨書籍やeラーニングコンテンツ等(学習環境は自己負担)によって個別学習をします。また、提示された課題を検討します。		
グループ演習	科目ごとにビジネスシミュレーションのツールを用い、グループ学習をします。	グループ別に設定された課題を討議し、シミュレーションを実行します。さらに各自、週末などを活用して意思決定の質を高めながら、シミュレーションを実行していきます。	発表/演習/意見交換/講評など
(自己学習)	週末などの自由時間に各課題について各自、検討します。webベースで意見交換、ファイルの共有等を行います。		

講師代表からのメッセージ



辻本 将晴 教授

東京科学大学 環境・社会理工学院
技術経営専門職学位課程
東京科学大学イノベーションデザイン機構 機構長

プロフィール

慶應義塾大学総合政策学部卒業、同大学院政策・メディア研究科後期博士課程修了。博士(政策・メディア)。三和総合研究所(現三菱UFJリサーチ&コンサルティング)等を経て2010年4月東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科准教授。20年4月より現職。

メッセージ

本コースは、社会の方が働きながら、MOTのエッセンス、すなわち必須の知見と本質を学ぶことができるように構成されています。受講者の方々は講師からだけでなく受講生からも価値ある知見を得て、人脈を広げることができます。10年以上の間、高い評価を受け続けてきた本コースを是非受講してみてください。

コースコーディネーターからのメッセージ



古俣 升雄 特任教授

東京科学大学 環境・社会理工学院
技術経営専門職学位課程

プロフィール

法政大学大学院経営学研究所キャリアデザイン学専攻修了(経営学修士)。人材育成・教育、コンサルティングの民間企業、早稲田大学客員研究員等を経て、2009年5月より東京工業大学イノベーションマネジメント研究科特任助教。2023年4月より現職。

メッセージ

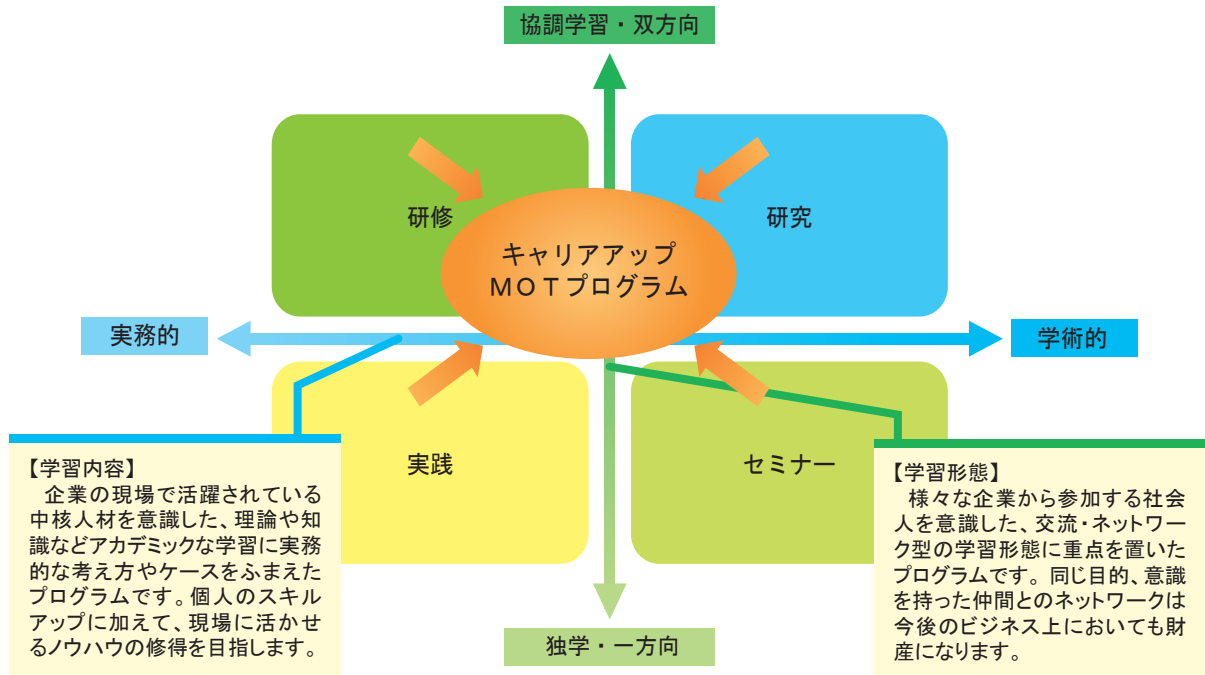
所属、役職、年代、専門性、文系・理系など、多様なキャリアを持つ社会人の方々が働きながらMOTを学び、自らのキャリア形成に活用しています。CUMOTでは学習者主体の学習形態を重視しており、高い学習意欲を持った多様性のある受講生同士の学びがより学習効果を高めます。「教わる」ではなく自ら「学ぶ」という意識をお持ちの方を歓迎します。

キャリアアップMOTプログラムの位置づけ

本プログラムの位置づけ

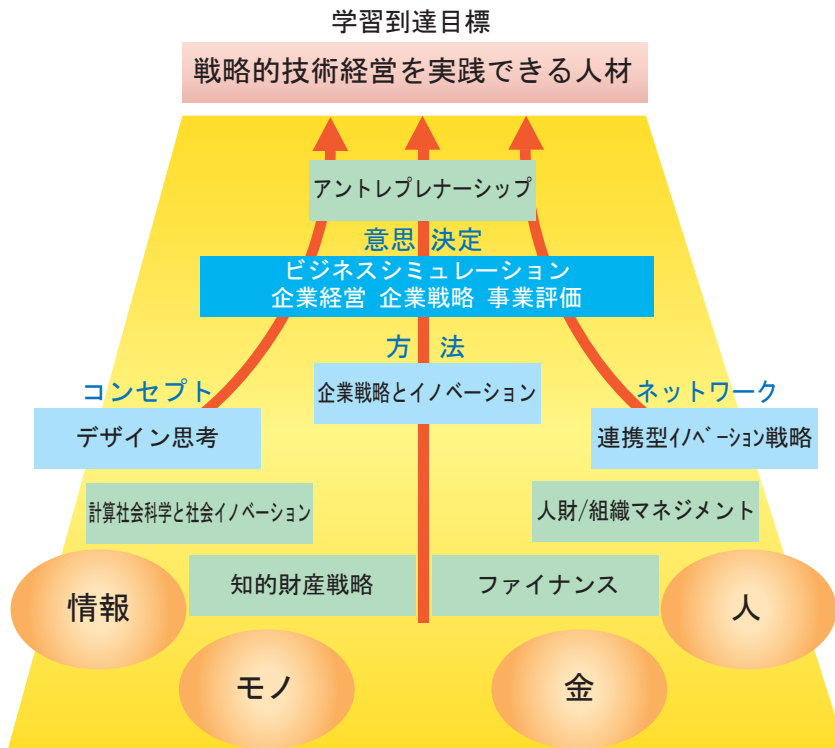
キャリアアップMOTプログラムは、本学の技術経営(MOT)教育ノウハウ、現場・実践を意識したカリキュラム(シミュレーション、ケース教材)、少人数制による質の高い講義と相互学習を通じて、次世代の企業経営を担う中核人材のキャリアアップを支援します。

「エッセンシャルMOTコース」の他、「知的財産戦略コース」など、MOTに関連する分野ごとのプログラムも提供しております。



カリキュラムマップと学習到達目標

エッセンシャルMOTコース



科目の学習目標の例(2024年度)

企業戦略とイノベーション

本科目の学習目標は3点です。第一は、経営戦略論という広範囲で複雑な分野の全体像を把握することです。第二は経営戦略論の各論についてのディスカッションを行えるようになることです。第三は経営戦略論の先端的な分野の一つであるエコシステム論について理解し、オリジナルな調査による発表とディスカッションができるようになることです。

デザイン思考

デザイン思考というキーワードが「製品・サービス開発の新たな手法」という文脈で語られるようになり久しいですが、誤解や誤用に基づく過剰な期待の上での失望を生むケースも多いようです。本講義では、産学連携授業「エンジニアリングデザインプロジェクト」の現場におけるデザイン思考の実践例を示しながら、単なる方法論に留まらないデザイン思考の活用方法を示します。また、次世代の製品・サービス開発において重要になる視点についてグループ課題に取り組んでもらい、議論を行います。

ビジネスシミュレーション 1 企業経営

コンピュータ上に構築された仮想の市場での企業経営を通じて、①PDCAサイクルの実施能力、②コンピュータツールの実践的活用能力、③グループディスカッション能力、④プレゼンテーション能力など、問題解決型人材に必要な実践的能力の向上を目指す。

学習支援システム/受講実績

講義中ならびに自己学習を支援するシステムです。

学習環境のフォロー

【補講用eラーニング】

エッセンシャルMOTコースでは、講師の了解をいただいた科目においては、グループ課題への対応等を考慮しまして欠席者用にwebでみられる補講用のeラーニングをご用意しています。

【Zoomによるオンライン受講】

エッセンシャルMOTコースでは、Zoomを用いたオンライン受講を併用して実施します。

【グループ学習支援システムの提供】

受講生の皆様への情報共有ならびにグループ学習等の支援として使用するコミュニケーションシステム(Slack(Slack Technologies社))を提供予定です。



受講実績

【受講者層のご紹介】

これからマネジメントを担っていく若手から、経営者として活躍されている方など技術経営のエッセンスを体系的に学びたい社会人の方が参加しています。

所属先は大手企業にお勤めの方が6~7割、中小・ベンチャー企業にお勤めの方が3~4割です。業種は製造業、サービス業、コンサルタント業などで、職種も経営者、マネージャー、研究職、企画職など多岐に渡ります。

MOTの学びを通じて仕事上の課題解決や自らのスキルアップを図るなど、高い学習意欲を持つ方々が参加しており、受講生同士の交流はお互いの刺激にもなっています。

(受講生所属先の例)

株式会社IHI、味の素株式会社、アマゾンジャパン合同会社、SCSK株式会社、AGC株式会社、株式会社荏原製作所、株式会社オリエンタルランド、川崎重工業株式会社、JX金属株式会社、シスコシステムズ合同会社、商船三井システムズ株式会社、住友化学株式会社、住友電設株式会社、ソニーグループ株式会社、大正製薬株式会社、テス・エンジニアリング株式会社、テルモ株式会社、株式会社豊田中央研究所、株式会社日本政策投資銀行、株式会社ファンコーポレーション、富士通株式会社、株式会社ブリヂストン、ボッシュ株式会社、株式会社本田技術研究所、マックス株式会社、株式会社Mizkan、三菱ガス化学株式会社、森永乳業株式会社、ヤマハ株式会社、横河電機株式会社、ライオン株式会社、株式会社リコーほか、ベンチャー企業、中小企業、公的機関、など

【受講者の声】(受講アンケートより)

- ・講義内容が多岐に渡っていたため、視野が広がったと実感している。受講した講義の中で興味を持った分野に関しては、知識を深めるために学習を継続している。
- ・MOTが俯瞰できるようになり、自分の会社への適用が考えられるようになった。
- ・一般論だけでなく実際の事例と結び付けて話をしていただいたので仕事にフィードバックすることができた。
- ・とくにグループディスカッションでは密度の濃い議論ができて、効果的に結論に近づくことができ、今後の課題も出てきた。職種の違う方からの意見が自分の視野を広げるのに役立つ、大変満足している。
- ・技術が社会実装されるために必要な戦略や要素について学び、製品・サービスを観察、検討する高い視座を得た。グループ学習を通して、意思決定やアウトプットのためのファシリテーションや、対話によるグループ学習の進め方についても理解することができた。
- ・現在携わっている業務とは全く違う分野の話も多く、大変刺激になりました。これから先、何か新しい分野(勉強でも仕事でも)に挑戦していく勇気をいただいたと思います。今すぐとりかかれなくても、視野を広げることができ、これから先、物の見方、考え方など参考になることが多かったと思います。

アンケート結果 (受講経験者平均 n 141)	5段階評価
「エッセンシャルMOT」の授業の総合的な満足度はどのくらいですか。	4.2
「エッセンシャルMOT」の授業で学んだことが今後自分の業務に役立つと考えていますか。	4.3
キャリアアップMOTとして働きながら技術経営を学ぶことは、ご自身のキャリア形成※に影響があったと思いますか。	4.4

※昇進や転職などに限らず、職業や働き方に対する考え方の変化も含めます。

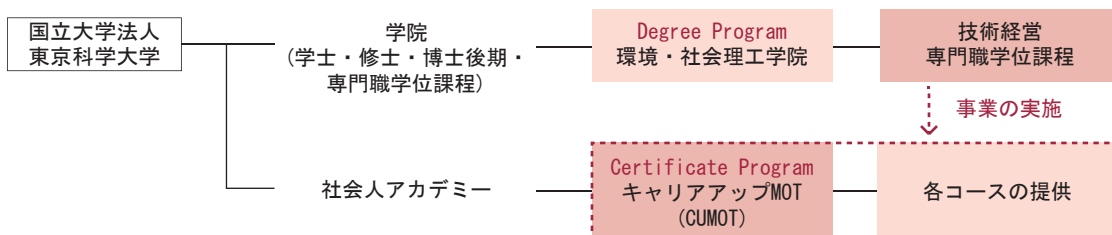
環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程とは

2005年4月に大学院イノベーションマネジメント研究科(MOT専門職大学院(専門職学位課程(修士)・技術経営専攻/博士後期課程・イノベーション専攻)が創設されました。2016年4月の本学の教育改革に伴い、技術経営専攻は環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程となりました。同課程では、技術や経営に関する卓越した知を創造し、新規事業やプロジェクトを戦略的に設計・立案し実行していく実務家、科学・技術知の創造を促し、科学・技術知の社会化・産業化を通じて豊かな社会を実現するイノベーターを養成します。

※詳細は下記のURLよりご覧ください。
<http://educ.titech.ac.jp/isc/>

実施体制

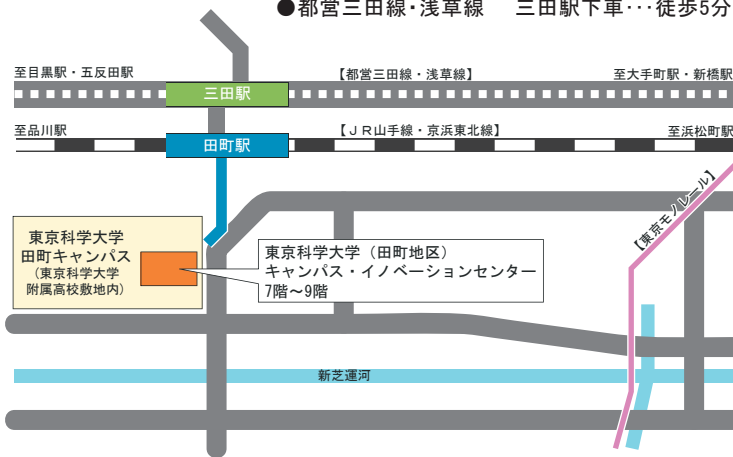
キャリアアップMOTプログラムは東京科学大学社会人アカデミーのもと、環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程が事業主体となり運営いたします。



交通案内

■田町キャンパス 所在地: 〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6
 キャンパス・イノベーションセンター

- JR山手線・京浜東北線 田町駅下車…徒歩1分
- 都営三田線・浅草線 三田駅下車…徒歩5分



キャンパス・イノベーションセンター

※各キャンパスの詳細は下記のURLよりご確認ください。
<https://www.cumot.isc.ens.titech.ac.jp/access.html>



東京科学大学 環境・社会理工学院
 技術経営専門職学位課程
 CUMOT

URL: <https://www.cumot.isc.ens.titech.ac.jp/>
 E-mail: cumot-info@mot.titech.ac.jp

<2024年12月作成>

プログラム説明会(Web配信)

エッセンシャルMOTコース(2025年度)の説明会の動画をwebで配信いたします(12月下旬～)。

申込方法: 問い合わせフォームにアクセスし、「エッセンシャルMOTコースについて」を選択し、必要事項を入力の上、「問い合わせ内容」で、「説明会視聴希望」としてお送りください。視聴に必要なIDと資料(PDF)をお送りします。メール([cumot-info\[at\]mot.titech.ac.jp](mailto:cumot-info[at]mot.titech.ac.jp))でのお申込みも可能です。※年末年始の期間(2024.12.26～2025.1.5)は説明会のご案内が遅れる場合があります。